

## Ⅱ アンケート調査からみた経営動向

※ 数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しているため、DIを算出すると±0.1ポイントの範囲で差異が生じることがある。

### 1 経営者の景況感と来期の見通しについて

#### 現在の景況感

自社業界の景況について「好況である」とみる企業は5.1%、「不況である」とみる企業は47.1%で、景況感DI（「好況である」－「不況である」企業の割合）は▲41.9となった。前期（▲40.8）から1.1ポイント減少し、2期連続悪化した。

#### 〈業種別〉

##### ○製造業

「好況である」とみる企業は5.2%、「不況である」とみる企業は49.7%で、景況感DIは▲44.6となった。前期（▲47.3）から2.7ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にDI値をみると、12業種中、「パルプ・紙・紙加工品」「プラスチック製品」「鉄鋼業・非鉄金属」「金属製品」「輸送用機械器具」が前期から悪化し、それ以外の7業種は前期から改善した。特に、「家具・装備品」は前期比で18.7ポイント増加し、前年同期比でも6.7ポイント増加した。

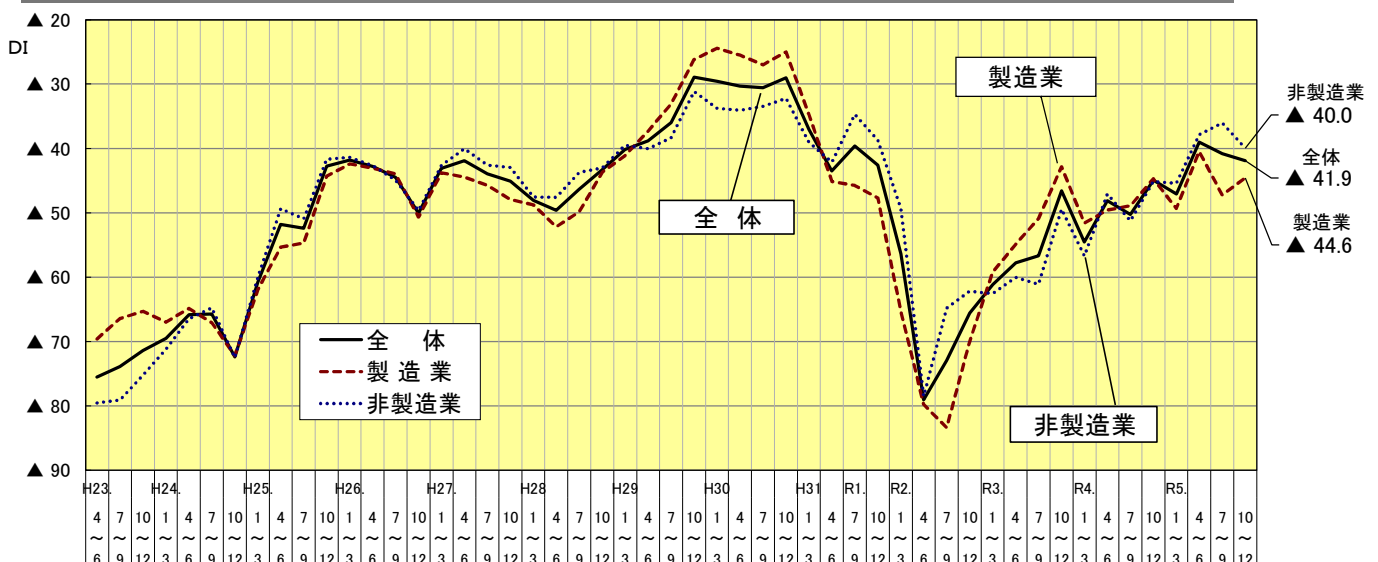
##### ○非製造業

「好況である」とみる企業は5.1%、「不況である」とみる企業は45.1%で、景況感DIは▲40.0となった。前期（▲36.0）から3.9ポイント減少し、3期ぶりに悪化した。

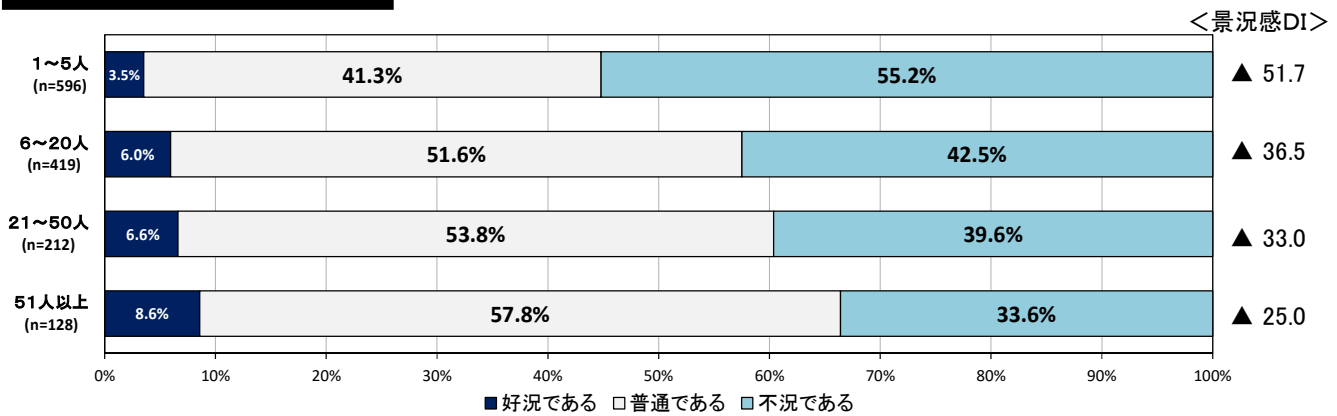
業種別にDI値をみると、7業種中、「運輸業」が前期から改善し、それ以外の6業種は前期から悪化した。特に、「不動産業」は前期比で16.9ポイント減少し、前年同期比でも11.6ポイント減少した。

#### 景況感DIの推移

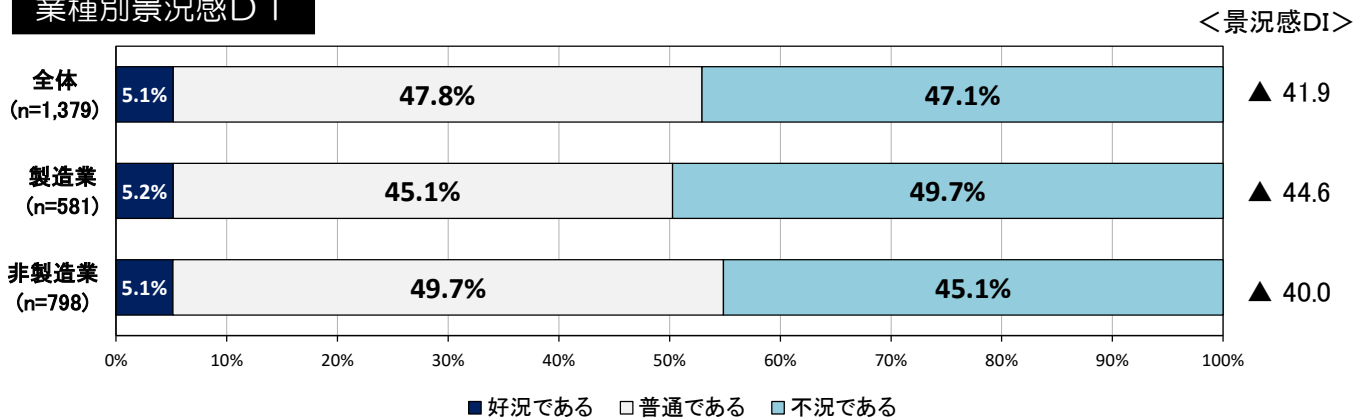
	当期DI (R5.10-12)	前期比 (R5.7-9)	前年同期比 (R4.10-12)	来期見通しDI (R6.1-3の見通し)	前期比[前回調査] (R5.10-12の見通し)
全 体	▲41.9	▲1.1	+3.1	▲17.7	▲6.5
製 造 業	▲44.6	+2.7	+0.2	▲18.2	▲10.0
非製造業	▲40.0	▲3.9	+5.2	▲17.3	▲3.8



## 従業員規模別景況感DI



## 業種別景況感DI



## 来期（令和6年1~3月期）の見通し

先行きについては、「良い方向に向かう」とみる企業は7.1%（前回調査(R5.7-9月)比 ▲3.5ポイント）、「悪い方向に向かう」とみる企業は24.8%（前回調査比+2.9ポイント）だった。先行きDIは▲17.7（前回調査比▲6.5ポイント）と、5期ぶりに悪化した。

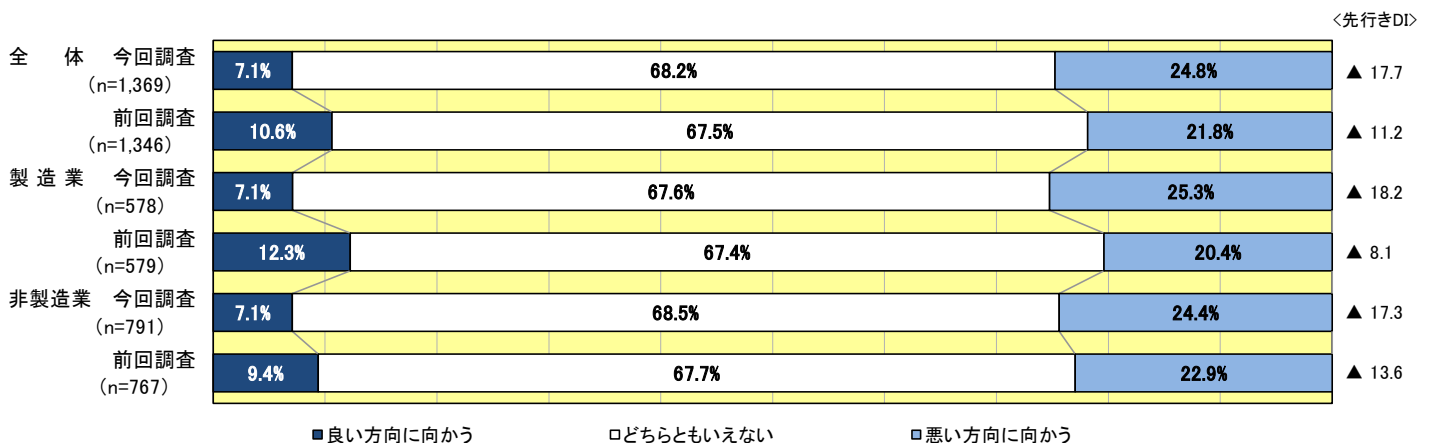
### <業種別>

○製造業 先行きDI ▲18.2（前回調査比▲10.0）

「良い方向に向かう」とみる企業は7.1%、「悪い方向に向かう」とみる企業は25.3%で、「良い方向に向かう」が前回調査より5.2ポイント減少した。

○非製造業 先行きDI ▲17.3（前回調査比▲3.8）

「良い方向に向かう」とみる企業は7.1%、「悪い方向に向かう」とみる企業は24.4%で、「良い方向に向かう」が前回調査より2.3ポイント減少した。



## 景況感DIの推移

単位：DI

業種	R4. 10～12月期	R5. 1～3月期	R5. 4～6月期	R5. 7～9月期	R5. 10～12月期 (当期)	増減		R6. 1～3月期 (見通し)
						前期比	前年同期比	
<b>全体</b>	▲ 45.0	▲ 47.1	▲ 39.0	▲ 40.8	▲ 41.9	▲ 1.1	3.1	▲ 17.7
<b>製造業</b>	▲ 44.7	▲ 49.3	▲ 40.5	▲ 47.3	▲ 44.6	2.7	0.2	▲ 18.2
食料品製造	▲ 45.8	▲ 53.8	▲ 15.1	▲ 27.1	▲ 24.5	2.6	21.2	▲ 13.2
繊維工業	▲ 72.2	▲ 72.7	▲ 69.4	▲ 73.5	▲ 67.7	5.8	4.5	▲ 37.5
家具・装備品	▲ 53.3	▲ 43.8	▲ 63.3	▲ 65.4	▲ 46.7	18.7	6.7	▲ 3.3
パルプ・紙・紙加工品	▲ 43.6	▲ 64.0	▲ 51.1	▲ 55.1	▲ 62.5	▲ 7.4	▲ 18.9	▲ 48.2
印刷業	▲ 64.4	▲ 74.4	▲ 48.9	▲ 62.5	▲ 53.7	8.8	10.8	▲ 27.5
化学工業	▲ 38.6	▲ 50.0	▲ 25.6	▲ 41.9	▲ 26.8	15.0	11.8	0.0
プラスチック製品	▲ 44.7	▲ 49.0	▲ 49.0	▲ 49.0	▲ 53.1	▲ 4.1	▲ 8.4	▲ 30.6
鉄鋼業・非鉄金属	▲ 45.6	▲ 50.8	▲ 43.6	▲ 56.6	▲ 61.5	▲ 4.9	▲ 15.9	▲ 22.0
金属製品	▲ 33.3	▲ 33.8	▲ 35.9	▲ 34.9	▲ 41.3	▲ 6.3	▲ 7.9	▲ 17.7
電気機械器具	▲ 32.8	▲ 35.7	▲ 31.1	▲ 35.9	▲ 28.3	7.6	4.5	3.8
輸送用機械器具	▲ 39.6	▲ 37.7	▲ 24.6	▲ 35.8	▲ 38.5	▲ 2.6	1.1	0.0
一般機械器具	▲ 41.7	▲ 45.9	▲ 49.2	▲ 53.3	▲ 40.0	13.3	1.7	▲ 19.7
<b>非製造業</b>	▲ 45.1	▲ 45.4	▲ 37.9	▲ 36.0	▲ 40.0	▲ 3.9	5.2	▲ 17.3
<b>建設業</b>	▲ 44.2	▲ 39.4	▲ 42.6	▲ 31.2	▲ 31.6	▲ 0.4	12.5	▲ 13.5
総合工事業	▲ 50.0	▲ 45.1	▲ 44.4	▲ 32.7	▲ 34.6	▲ 1.9	15.4	▲ 20.4
職別工事業	▲ 46.0	▲ 46.3	▲ 46.7	▲ 39.6	▲ 35.8	3.7	10.2	▲ 11.3
設備工事業	▲ 36.8	▲ 26.0	▲ 36.7	▲ 22.8	▲ 24.5	▲ 1.7	12.3	▲ 9.4
<b>卸売・小売業</b>	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 48.7	▲ 45.6	▲ 50.0	▲ 4.4	4.0	▲ 25.3
(卸売業)	▲ 47.5	▲ 43.1	▲ 40.3	▲ 34.1	▲ 43.5	▲ 9.4	4.0	▲ 22.8
繊維・衣服等	▲ 80.0	▲ 52.4	▲ 64.7	▲ 25.0	▲ 55.0	▲ 30.0	25.0	▲ 38.1
飲食料品	▲ 50.0	▲ 63.3	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 42.3	▲ 17.3	7.7	▲ 23.1
建築材料、鉱物・金属材料等	▲ 21.4	▲ 41.9	▲ 29.0	▲ 34.4	▲ 25.8	8.6	▲ 4.4	▲ 16.1
機械器具	▲ 44.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 34.8	▲ 3.0	9.2	▲ 4.3
その他	▲ 57.1	▲ 34.6	▲ 61.5	▲ 54.2	▲ 66.7	▲ 12.5	▲ 9.5	▲ 36.4
(小売業)	▲ 59.4	▲ 60.1	▲ 55.8	▲ 55.6	▲ 55.4	0.2	4.0	▲ 27.4
繊維・衣服・身の回り品	▲ 69.4	▲ 74.3	▲ 63.2	▲ 73.0	▲ 71.4	1.5	▲ 2.0	▲ 34.1
飲食料品	▲ 63.2	▲ 52.6	▲ 44.4	▲ 52.6	▲ 43.2	9.4	19.9	▲ 24.3
機械器具	▲ 53.1	▲ 55.0	▲ 50.0	▲ 51.5	▲ 38.7	12.8	14.4	▲ 22.6
その他	▲ 51.4	▲ 60.0	▲ 63.4	▲ 44.4	▲ 63.2	▲ 18.7	▲ 11.8	▲ 27.0
<b>飲食店</b>	▲ 55.3	▲ 45.9	▲ 31.7	▲ 37.1	▲ 42.9	▲ 5.7	12.4	▲ 28.6
<b>情報サービス業</b>	▲ 19.2	▲ 21.6	▲ 9.8	▲ 13.8	▲ 16.7	▲ 2.9	2.6	9.3
<b>運輸業</b>	▲ 40.0	▲ 48.3	▲ 39.6	▲ 53.8	▲ 49.1	4.7	▲ 9.1	▲ 27.3
<b>不動産業</b>	▲ 35.6	▲ 33.3	▲ 32.7	▲ 30.2	▲ 47.2	▲ 16.9	▲ 11.6	▲ 15.1
<b>サービス業</b>	▲ 41.9	▲ 50.3	▲ 26.8	▲ 28.4	▲ 32.7	▲ 4.3	9.2	▲ 11.0
専門サービス業	▲ 31.9	▲ 34.1	▲ 23.4	▲ 14.0	▲ 29.5	▲ 15.5	2.4	▲ 6.8
洗濯・理美容・浴場業	▲ 63.2	▲ 75.6	▲ 52.8	▲ 51.4	▲ 59.0	▲ 7.5	4.2	▲ 28.2
その他生活関連・娯楽業	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 16.2	▲ 36.1	▲ 25.7	10.4	20.4	▲ 8.3
その他の事業サービス業	▲ 27.8	▲ 40.5	▲ 16.2	▲ 19.5	▲ 18.2	1.3	9.6	▲ 2.3

## 2 売上げについて

### 当期（令和5年10～12月期）の状況

前期と比べ、売上げが「増加した」企業は22.4%、「減少した」企業は30.0%で、売上げD I（「増加した」－「減少した」企業の割合）は▲7.6となった。前期（▲17.8）から10.2ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

#### <業種別>

##### ○製造業

売上げが「増加した」企業は23.3%、「減少した」企業は31.7%で、売上げD Iは▲8.4となった。前期（▲19.4）から10.9ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「プラスチック製品」「一般機械器具」の2業種が前期から悪化し、それ以外の10業種は前期から改善した。特に、「印刷業」は前期比で47.3ポイント増加し、前年同期比でも27.3ポイント増加した。

##### ○非製造業

売上げが「増加した」企業は21.7%、「減少した」企業は28.7%で、売上げD Iは▲7.0となった。前期（▲16.6）から9.6ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「不動産業」が前期から悪化し、それ以外の6業種は前期から改善した。特に、「情報サービス業」は前期比で40.8ポイント増加し、前年同期比でも20.5ポイント増加した。

#### <売上げ実績>

	増えた	変わらない	減った	D I	前期比	前年同期比
全 体	22.4%	47.6%	30.0%	▲7.6	+10.2	+0.8
製 造 業	23.3%	45.0%	31.7%	▲8.4	+10.9	▲3.8
非製造業	21.7%	49.6%	28.7%	▲7.0	+9.6	+4.5

### 来期（令和6年1～3月期）の見通し

先行きについて、売上げが「増加する」見通しの企業は12.5%、「減少する」見通しの企業は36.1%であった。当期の売上げD I（▲7.6）と比べて、来期D Iは▲23.6（当期比▲16.0）と悪化する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の売上D Iは▲22.3（当期比▲13.9）と悪化する見通しである。

非製造業の来期の売上D Iは▲24.6（当期比▲17.5）と悪化する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P35）を御覧ください。

### 3 資金繰りについて

#### 当期（令和5年10～12月期）の状況

前期と比べ、資金繰りが「良くなった」企業は8.6%、「悪くなった」企業は25.4%で、資金繰りD I（「良くなった」－「悪くなった」企業の割合）は▲16.8となった。  
前期（▲21.8）から5.0ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

#### 〈業種別〉

##### ○製造業

資金繰りが「良くなった」企業は9.5%、「悪くなった」企業は27.5%で、資金繰りD Iは▲18.0となった。前期（▲24.4）から6.4ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「鉄鋼業・非鉄金属」「金属製品」「輸送用機械器具」「一般機械器具」の4業種が前期から悪化し、それ以外の8業種は前期から改善した。特に、「印刷業」は前期比で26.2ポイント増加し、前年同期比でも19.4ポイント増加した。

##### ○非製造業

資金繰りが「良くなった」企業は7.9%、「悪くなった」企業は23.8%で、資金繰りD Iは▲15.9となった。前期（▲19.8）から3.8ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「飲食店」「運輸業」「不動産業」の3業種が前期から悪化し、それ以外の4業種は前期から改善した。特に、「情報サービス業」は前期比で17.7ポイント増加し、前年同期比でも13.4ポイント増加した。

#### 〈資金繰り実績〉

	良くなった	変わらない	悪くなった	D I	前期比	前年同期比
全体	8.6%	66.1%	25.4%	▲16.8	+5.0	+4.0
製造業	9.5%	63.0%	27.5%	▲18.0	+6.4	+2.3
非製造業	7.9%	68.3%	23.8%	▲15.9	+3.8	+5.3

#### 来期（令和6年1～3月期）の見通し

先行きについて、資金繰りが「良くなる」見通しの企業は6.0%、「悪くなる」見通しの企業は27.4%であった。

当期の資金繰りD I（▲16.8）と比べて、来期D Iは▲21.5（当期比▲4.7）と悪化する見通しである。

#### 〈業種別〉

製造業の来期の資金繰りD Iは▲20.1（当期比▲2.1）と悪化する見通しである。

非製造業の来期の資金繰りD Iは▲22.5（当期比▲6.6）と悪化する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P36）を御覧ください。

## 4 採算について

### 当期（令和5年10～12月期）の状況

前期と比べ、採算が「良くなった」企業は11.2%、「悪くなった」企業は33.8%で、採算D I（「良くなった」－「悪くなった」企業の割合）は▲22.7となった。前期（▲26.9）から4.2ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

#### <業種別>

##### ○製造業

採算が「良くなった」企業は13.5%、「悪くなった」企業は34.1%で、採算D Iは▲20.6となった。前期（▲28.7）から8.0ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にD I値をみると、12業種中、「金属製品」「一般機械器具」の2業種が前期から悪化し、それ以外の10業種は改善した。特に、「印刷業」は前期比で23.4ポイント増加し、前年同期比でも24.7ポイント増加した。

##### ○非製造業

採算が「良くなった」企業は9.5%、「悪くなった」企業は33.6%で、採算D Iは▲24.2となった。前期（▲25.5）から1.3ポイント増加し、2期ぶりに改善した。

業種別にD I値をみると、7業種中、「卸売・小売業」「飲食店」の2業種が前期から悪化し、それ以外の5業種は改善した。特に、「情報サービス業」は前期比で17.1ポイント増加し、前年同期比でも9.9ポイント増加した。

#### <採算実績>

	良くなった	変わらない	悪くなった	D I	前期比	前年同期比
全体	11.2%	55.0%	33.8%	▲22.7	+4.2	+8.1
製造業	13.5%	52.4%	34.1%	▲20.6	+8.0	+11.9
非製造業	9.5%	56.9%	33.6%	▲24.2	+1.3	+5.2

### 来期（令和6年1～3月期）の見通し

先行きについて、採算が「良くなる」見通しの企業は7.0%、「悪くなる」見通しの企業は34.2%であった。当期の採算D I（▲22.7）と比べて、来期D Iは▲27.2（当期比▲4.5）と悪化する見通しである。

#### <業種別>

製造業の来期の採算D Iは▲25.3（当期比▲4.6）と悪化する見通しである。

非製造業の来期の採算D Iは▲28.6（当期比▲4.4）と悪化する見通しである。

（注）全業種の集計結果とD Iの推移は付表（P37）を御覧ください。

## 5 設備投資について

### 当期（令和5年10～12月期）の状況

当期に設備投資を実施した企業は19.3%で、前期（20.4%）から1.2ポイント減少し、2期ぶりに減少した。内容をみると、「生産・販売設備（建設機械を含む）」が44.9%で最も高く、「車両・運搬具」が29.4%、「情報化機器」が20.0%と続いている。目的では、「更新、維持・補修」が63.8%で最も高く、「生産・販売能力の拡大」が34.7%、「合理化・省力化」が23.0%と続いている。

〈業種別〉 （注）設備投資実施率と設備投資の内容・目的の詳細はP11、P12を御覧ください。

#### ○製造業

設備投資を実施した企業は22.9%で、前期（24.6%）から1.7ポイント減少し、2期連続減少した。また、前年同期（25.3%）から2.4ポイント減少した。

業種別にみると、12業種中、「食料品製造」「化学工業」「プラスチック製品」「鉄鋼業・非鉄金属」「電気機械器具」「一般機械器具」の6業種が前期から減少し、それ以外の6業種は増加した。

設備投資の内容は、「生産・販売設備（建設機械を含む）」が63.4%で最も高く、次いで、「車両・運搬具」が20.6%、「建物(工場・店舗等を含む)」が19.8%と続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が64.9%で最も高く、次いで、「生産・販売能力の拡大」が38.2%、「合理化・省力化」が26.0%と続いている。

#### ○非製造業

設備投資を実施した企業は16.6%で、前期（17.3%）から0.6ポイント減少し、2期ぶりに減少した。また、前年同期（17.2%）から0.6ポイント減少した。

業種別にみると、7業種中、「建設業」「情報サービス業」「不動産業」の3業種が前期から減少し、それ以外の4業種は増加した。

設備投資の内容は、「車両・運搬具」が38.1%で最も高く、次いで、「生産・販売設備（建設機械を含む）」が26.9%、「情報化機器」が24.6%と続いている。

設備投資の目的は、「更新、維持・補修」が62.7%で最も高く、次いで、「生産・販売能力の拡大」が31.3%、「合理化・省力化」が20.1%と続いている。

#### 〈設備投資実施率〉

	実施した	実施しなかった	前期比	前年同期比
全 体	19.3%	80.7%	▲1.2	▲1.5
製 造 業	22.9%	77.1%	▲1.7	▲2.4
非製造業	16.6%	83.4%	▲0.6	▲0.6

## 来期（令和6年1～3月期）の見通し

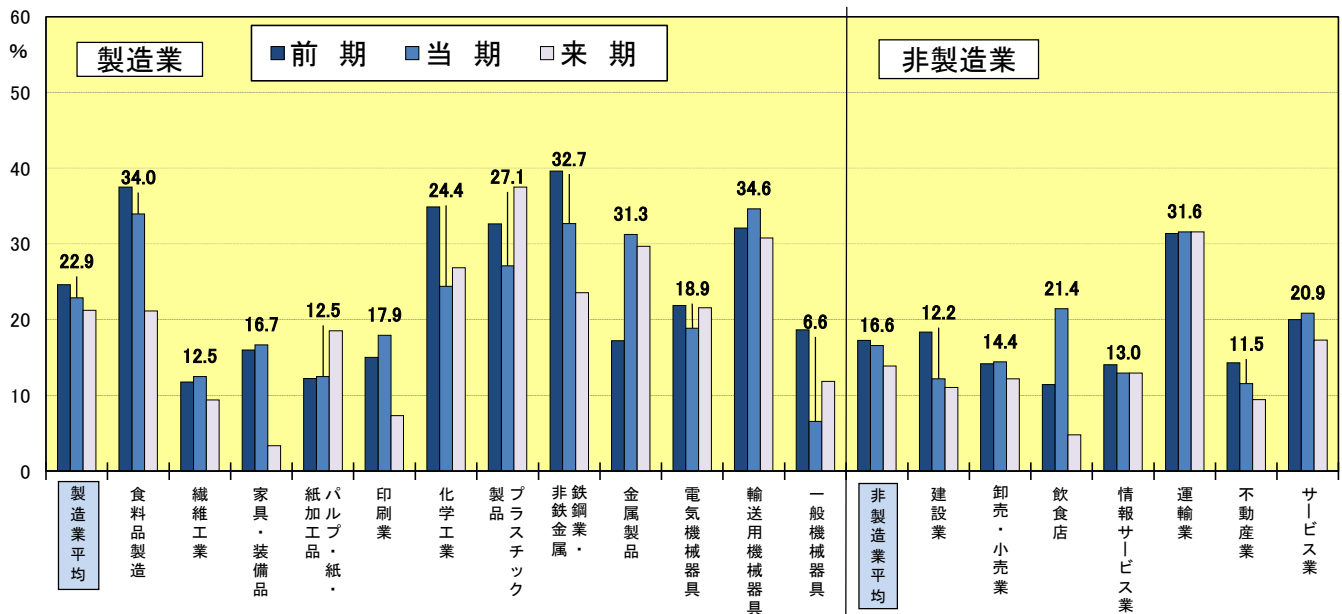
来期に設備投資を実施する予定の企業は17.0%で、  
当期（19.3%）から2.3ポイント減少する見通しである。

### <業種別>

設備投資を予定している企業は製造業で21.2%、非製造業で13.9%となっている。  
当期に比べ、製造業、非製造業ともに減少する見通しである。

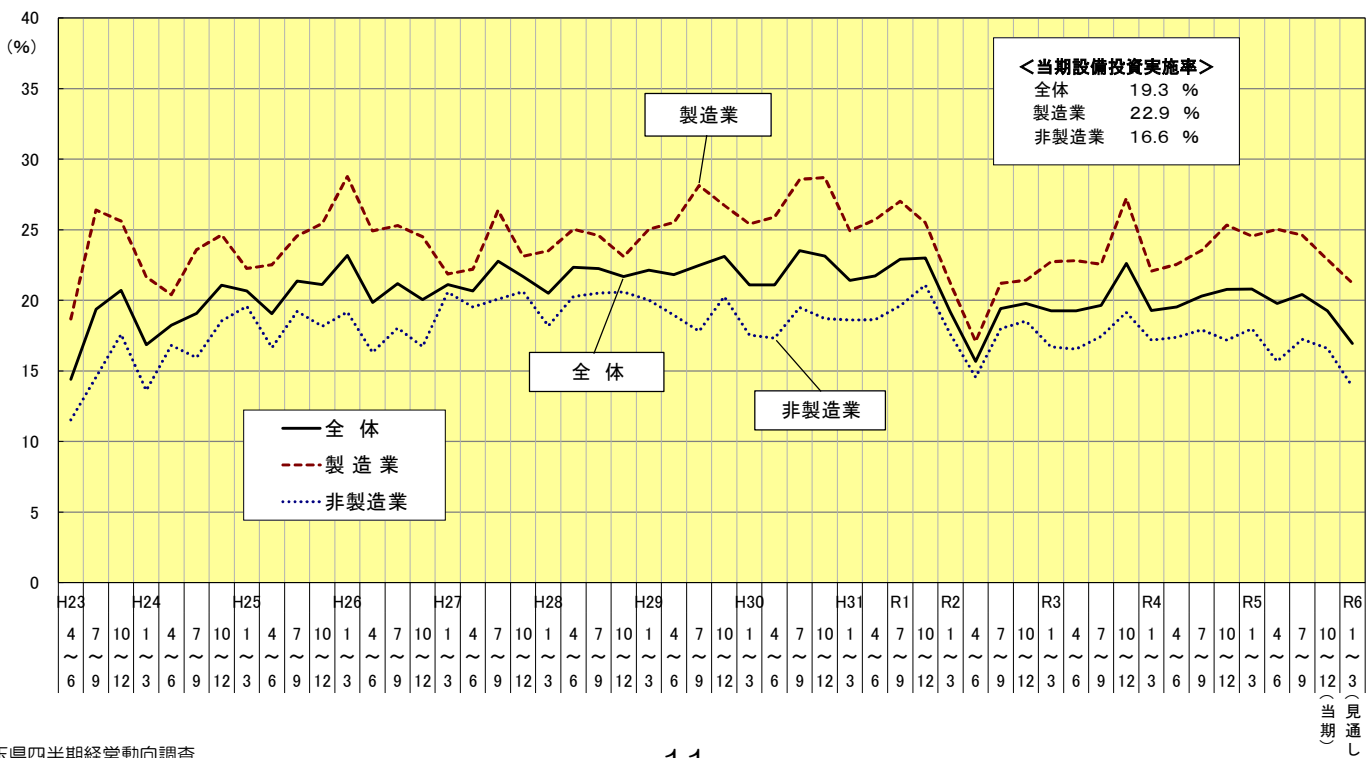
(注)業種別設備投資実施率の推移は付表(P38)を御覧ください。

### 業種別・設備投資実施率



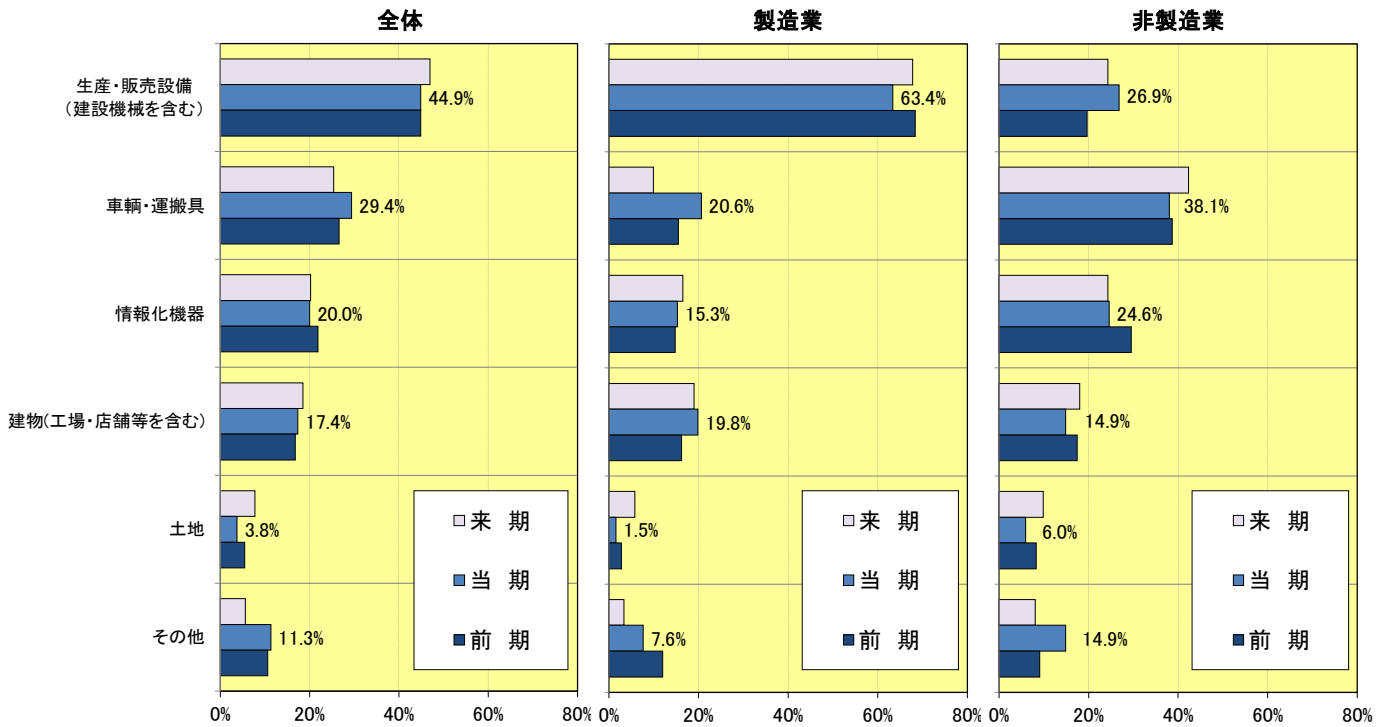
※数値は当期の実施率。

### 設備投資実施率の推移



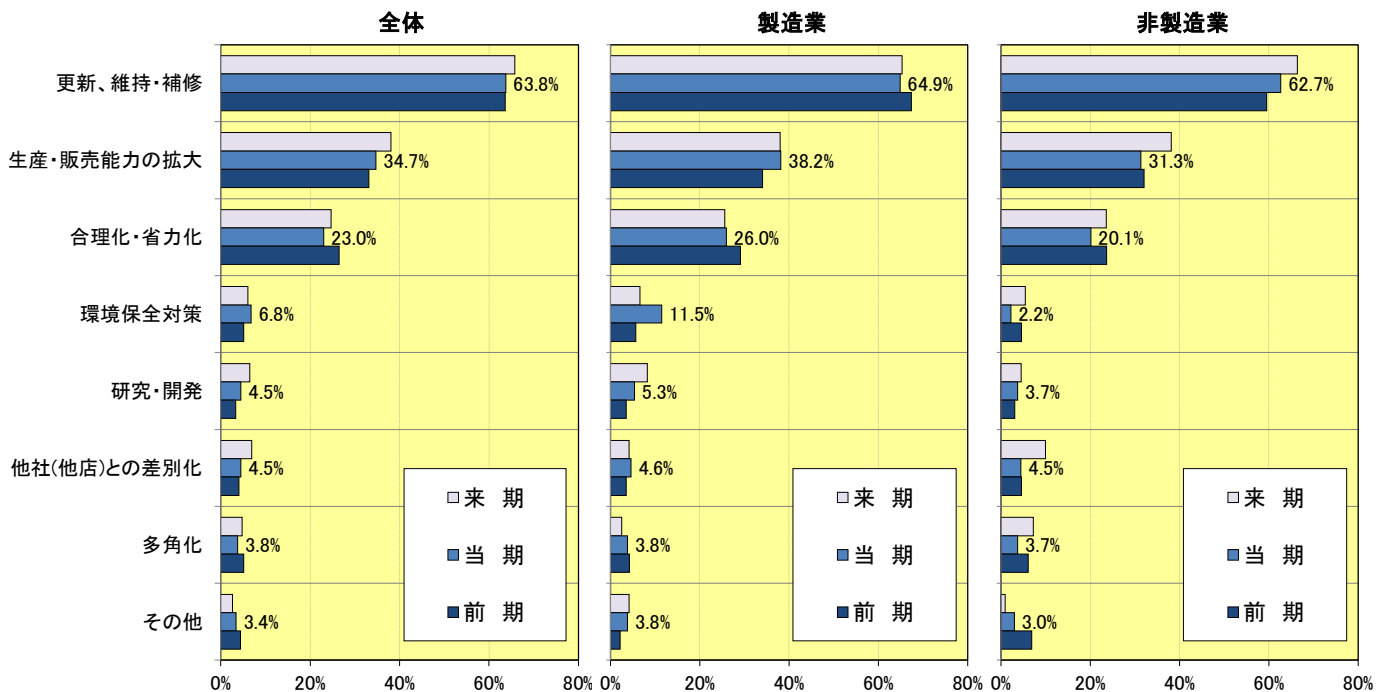


## 設備投資の内容【複数回答】



※数値は当期の実施率。

## 設備投資の目的【複数回答】



※数値は当期の実施率。